

令和6年度 実務研修ファシリテーター養成研修会 報告書

日時：令和6年11月9日（土）13：25～16：25

参加者：15名（会員13名、非会員2名）、講師等派遣養成委員会2名、
協会員3名（研修協力者として参加）

【内容】

○13：25～開会挨拶：橋本副理事長

○13：30～実務研修ファシリテーター養成講座：四宮明子講師による講義と演習

ファシリテーターの基本、実務研修の目的、ケアマネジメントプロセスの言語化
実際の場面を寸劇で再現

14：40～休憩

14：50～講義、演習、グループワーク

寸劇をみて感じたことを共有、介入部分を寸劇し、実際に体験、目標設定、
グループで共有

16：20～閉会挨拶：黒田委員長

【考察】

今後、段階的に行っていく研修で今回初めて参加される方もあった。ファシリテーター養成だけではなく、事業所でも使えるスキルとなる研修であった。ファシリテーターとは何か？どのようなスキルが必要なのか、詳しく丁寧な説明があり、講師の明るい表情とわかりやすい講義で、初めて参加した方にも笑顔が見え、和やかな雰囲気の中でグループワークもできていた。普段業務で行っているケアマネジメントプロセスを言語化した。業務内容は理解できていても言語化する難しさを感じていた。ただ答えを伝えるのではなく、実際のやり取りの寸劇の中で重要なキーワードを伝え、自分の答えを確認することで、教えるばかりでは相手の考える力を奪ってしまうことを実感することができた。介入の場面もわかりやすい寸劇で、実際にある場面を想定して行われていたので、今後ファシリテーターとして参加するときに使えるスキルを手に入れることができたのではないかと考える。研修の中に楽しみを見つけられる、また次も受けたいと思えるようなファシリテーターの養成ができるように今後の研修につなげていきたい。

